

発団 35 周年によせて

ビーバー隊 隊長 下大菌 哲治

座間 3 団 35 周年おめでとうございます。私も座間 3 団の一員として約 20 年間活動してまいりました。発団当時から活動しています鈴木団員長を始めとする団員の方々の努力と周りのスタッフの见えない所で支えて下さっている絆があつて、35 周年を迎えられたと思う次第です。私もこの絆をいしずえにその中の一員として座間 3 団を盛り上げていきたいと思ひます。

ビーバー隊から始まるスカウト活動ですが、スカウトの人数が年々減少しており、座間市内においても座間 3 団のみとなりました。座間全域をカバーできるよう悪戦苦闘しておりますがスカウトの増員には至っていません。スカウト増員のカギは、保護者の方の口コミが 1 番だと思います。ビーバー隊では、保護者の方々にもスカウトと活動して頂いてあります。歩く・探す・作る・遊ぶ・共同作業などを通して集団活動の楽しさ・大切さを感じてもらえるように心がけています。スカウト活動の良いところなど外へ発信していただきたいと思ひます。

今と一昔前では、子供の遊び方もだいぶ変化し、片手にゲーム機を持ち座り込んでの遊んでいる姿をよくみかけます。一人で目標に向かって努力することも大切ですが、社会生活においては周囲の人と一緒に協力しながら、活動することも求められます。

リーダーだけでは出来ることは限られています。皆様のボーイスカウト活動へのご理解と御協力をお願い申し上げます。

発団 35 周年によせて

ビーバー隊 副長 滝井 宏樹

発団 35 周年おめでとうございます。

BVS 隊副長を代表してお祝いの挨拶をさせていただきます。

座間 3 団が 35 周年を迎えられたのも、団を運営されてきた団委員長をはじめ団役員の方々、諸先輩リーダーや育成会の方々、そして地域関係者の方々の協力の賜物と思います。深く感服いたします。

35 年間無事に活動を続けてこられたということは、並み大抵ではできません。1 年 1 年少しずつ活動を積み重ねられ現在の座間 3 団となっていると思います。これから先さらに座間 3 団の年輪を重ねていくには、先輩から後輩へ、技能や知識が伝達されていくことがより重要となると思います。これからも先輩方のご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。さらに良くしていくために私も微力ではありますが協力していきたいと思います。

私は BVS 隊の副長を引き受けてから丸 5 年が過ぎました。BVS 隊は今までにないスカウトの数に減ってしまいそうです。いろいろとみんなでスカウト募集をしてきましたが、そうそう簡単に増えるものではありません。副長として出来ることは、1 つ 1 つの活動をより魅力あるものとすると思います。BVS ではまず、スカウトが楽しい、面白い、また遊びたい、と思うこと、また、見ていても楽しそうって、思われることだと思います。そしてより地域に密着した活動をすることで、地域の人に見てもらえる活動としていきたいと思います。まずは、活動を知ってもらうこと。これが大事だと思っています。ご父兄の方には引き続きのご理解、ご協力をお願いいたします。

40 年、45 年へと続く布石になれるよう、微力ながらサポートしていきたいと思います。

発団35周年によせて

カブ隊 隊長 鈴木 淳

発団35周年、誠におめでとうございます。

この記念の年を迎えることができるは、鈴木団委員長をはじめ、これまでの数多くの団委員、育成会の皆様、各隊指導者の諸先輩の皆様、そして保護者の皆様の奉仕の心を基にした、ご尽力により築かれたものと深く感謝申し上げます。

私の息子が小学4年生で入隊し、お世話になっておりましたが、今では私自身がお世話になっております。

指導者となり活動し15年が経ちますが、長いようで短く感じられる年月です。また、団、育成会、各隊指導者の皆様方に支えられながら活動できる事を大変感謝しております。ありがとうございます。

これまで沢山のカブスカウトの皆さんと活動してまいりましたが、物静かだったり、やんちゃだったりしたスカウトが、今では高校生、大学生、社会人と立派になった姿を目にする時は、感慨深いものがあります。

これからも活動を通じ、スカウトと共に成長して行きたいと思います。

ここ数年スカウト数が減少傾向にあり、各隊の活動への影響も懸念される状況です。

団、育成会、各隊が連携し一体となり、市行事、学校行事に参加し、また、隊プログラムにおいては魅力ある活動を展開し、スカウトの増員に努めることが必要だと思っています。育成会員の皆様には、日頃のご支援に感謝申し上げますと共に、この状況にご理解を頂き、ご協力をお願い申し上げます。

私自身、微力ではありますが、元気ある楽しい活動が行えるよう取り組んで行きたいと思っています。これからも宜しく願い申し上げます。

座間第3団が、これからも50年、100年と大きく発展して行くことを願っております。

発団35周年を迎えて

カブ隊 副長 森 博之

発団35周年おめでとうございます。

長き渡り地域に密着し座間3団として活動できたのも、今までご支援頂いた団、育成会、指導者の皆様方の強力なサポートがあったからこそと感謝致します。

私がボーイスカウトに関わるきっかけとなったのは、息子がビーバー隊に入隊した時になります。その息子も今年から社会人になりました。つくづく、月日の経つ早さと十数年座間3団にお世話になっていることに感謝する次第です。

さて、私の会社でもボーイスカウトの指導者として支援している人はたくさんいます。参加すると子どもたちの育成には素晴らしい活動と共鳴できるからだと思います。ただ、最近、少子化の影響もありスカウトが減少しています。学校や他の地域活動と連携してボーイスカウトの良さを伝える必要性があります。スカウトの保護者の皆様、色々な場でピーアール頂きたいと思います。

最近、カブ隊では保護者の皆様の参加が少なくさびしく思っています。スカウトと一緒に活動に参加頂ければ、もっとボーイスカウトのいいところが見えてくると思います。

これを機会に、スカウトといっしょに野外活動を楽しみましょう。お友達にこの体験の素晴らしさを伝えて頂ければ、スカウトも増えてくると思います。

ベンチャー隊及びボーイ隊のメンバーにお願いがあります。座間3団の指導者はご存じの通り中高年が増えてきました。これから10年、20年座間3団が発展するためには、みんなの協力なしには続きません。今後、指導者と言うか、お手伝いで結構ですので座間3団のサポートよろしく願います。

最後に、座間3団が40周年、50周年と前進発展することを心より願います。

発団35周年 いやさか！

ボーイ隊 隊長 茂木 寛

座間第3団の発団35周年に際し心より「いやさか！」をお贈り申し上げます。

この「いやさか（弥栄）」は繁栄を祈って叫ぶ祝声で、世界各国のスカウトは自国語の祝声（Cheer、他者を祝賀、賞賛する際や、再会を約して別れる折などに唱和する掛け声のこと。一般に用いられる万歳のようなもの）を持ち、日本連盟は古語である「弥栄」を採用していました。

1924年（大正13）、英国ギルウェル指導者訓練所の所長であったJ・S・ウィルソンから、その時入所していた13国の指導者全員に、各国のスカウト祝声を披露するようとの命令があったとき、日本の佐野常羽先生は、「弥栄」を披露し、「ますます栄える（More Glorious）」という意味であることを説明したところ、ウィルソン所長は、「発声は日本のものが一番よい。そのうえ哲学が入っているのが良い」と賞賛し、以後、ギルウェル訓練所の祝声を「弥栄」とすることに決めました。（wikipedia）

世界ジャンボリーでは、外国スカウトの「いやさか」が聞けるかもしれませんよ！

私が座間第3団に奉仕して15年になります。ここまで続けてこれたのも鈴木・根塚団委員長をはじめ、育成会・保護者の皆様のご理解とご協力の賜物と、あらためて感謝申し上げます。

ボーイスカウトの醍醐味はやはり野外での実践活動と世界交流だと思います。2015年には山口県きらら浜において、第23回世界ジャンボリーが世界162の地域から3万人のスカウト指導者が集まりキャンプ大会を開催します。スカウトとしては14～17才が参加可能ですが、大会奉仕スタッフや見学、外国スカウトのホームステイ受入など、直接・間接的に関わることもできますので、座間3団としても参加とご協力をお願い申し上げます。

発団 35 周年を祝して

ベンチャー隊 隊長 油科 智司

座間第 3 団発団 35 周年おめでとうございます。

私は、綾瀬第 2 団にカブ隊から入団しボーイスカウトを続けてきました。

しかし諸般の事情から休団する事となり、行き場の無くなってしまっていた私を、根塚前団委員長に拾って頂き、スカウティングを続ける事ができ、感謝しております。

そして転団当初から、鈴木前育成会長(現団委員長)をはじめ、団関係者の皆様の温かいご支援も頂き、ベンチャー隊長としてスカウトを指導にあたる事が出来ました。ありがとうございます。

そしてその中で、今回の座間 3 団の発団 35 周年をお祝い出来る所を非常にうれしく感じています。

転団して 2 年足らずですが、座間の大風などの団行事を体験させて頂き、非常に伝統ある活動を行っている素晴らしい団である事を感じる事が出来ました。

私自身まだまだ座間 3 団に馴染めていませんが、日頃から、学業、部活等に忙しい高校生スカウトと手を取り合って、有意義な時間を共有しながら、共に成長できればと考えます。

また、座間 3 団では 1988 年に最初の富士スカウトが認証されて以降、2 人目が認証されていないと伺っています。出来るだけ早い段階で 2 人目の富士章取得スカウトを輩出できるよう、私も出来る限りスカウトに協力してゆきたいと思いますので、保護者、育成会、団委員、協力会員関係者皆様のご協力とご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

発団35周年に思いをよせて

ローバー隊 隊長 宮内 静夫

座間3団発団35周年おめでとうございます。

思えば長い歳月がたち、思いだすにも数多くのことが、また幾多のスカウターの方々の思い出がよみがえります。この数年においては不幸にみまわれ退団も考えました、3団のリーダーの方々の励ましに支えられ、2011年度にはボーイ隊の活動に参加させていただき自分を見直すことが出来ました。

ローバー隊のスカウト達には多大なご迷惑をかけたことをおわびいたします。

座間3団は、育成会、団委員、各隊リーダー、保護者の方々の努力により現在の発展があると言えるでしょう。団委員長、育成会長の努力に感謝いたします。

ローバースカウトがリーダーとして活動される事を願いつつ、末永く座間3団が発展することを記念いたします。

弥栄